



報道機関向けご案内（IPBES TSU-IAS 仮訳）

生物多様性及び生態系サービスに関する 政府間科学-政策プラットフォーム（IPBES）

侵略的外来種は生物多様性危機の 5 大直接要因のひとつ

IPBES 評価報告書の取り組み

2023 年 9 月 4 日（月）報告書発表予定

「侵略的外来種が生物多様性、生態系サービス、持続可能な開発、そして人間の福利に与える脅威が急速に高まっていることは、一般的にあまり理解されていない。この権威ある報告書は、侵略的外来種の影響を緩和するための行動を支えるために、重大な知識のギャップを埋め、意思決定者を支援し、人々の意識を高めることに大きく貢献するだろう。」

ヘレン・ロイ教授、英国生態学・水文学センター、IPBES 外来種評価報告書共同議長

- 世界の侵略的外来種の現状と傾向に関する最新の証拠を提示する。
- 意思決定者が適切な対応を選択・設計するための選択肢を示す。
- 新しい昆明・モントリオール生物多様性枠組のターゲット 6 の実施に情報を提供する。
- 世界49カ国、86名の第一線の国際的専門家によって作成された。
- 13,000以上の文献を参照し、作成に4年、総費用は150万ドル以上。
- 政府、市民社会、先住民および地域社会、企業などによる決定に情報を提供する。
- メディア発表予定：2023年9月4日 日本時間21:00 中央ヨーロッパ夏時間14:00
- ソーシャルメディア：@IPBES #InvasiveAlienSpecies Assessment

2023 年 9 月 4 日（月）、生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム（IPBES）は、侵略的外来種に関するテーマ別評価報告書（通称「侵略的外来種評価報告書」）を発表する予定です。

侵略的外来種は、土地や海洋の利用変化、生物の直接採取、気候変動、汚染と並んで、生物多様性損失の世界的な 5 大直接要因のひとつです¹。最近採択された昆明・モントリオール生物多様性枠組のターゲット 6 は、「侵略的外来種による生物多様性と生態系サービスへの影響を除去、最小化、低減及び、又は緩和する」ことです。IPBES 侵略的外来種評価は、侵略的外来種の現状と傾向、その影響、促進要因、

¹ 参照：[IPBES 地球規模評価報告書](#)

管理、外来種がもたらす課題に効果的に対処するための方法と政策について、選択肢を示し政策決定者の理解を助けることを目的としています。

評価は 4 年以上の時間をかけて実施され、総費用は 150 万米ドルを超えました。本報告書は、ヘレン・ロイ教授（英国生態学・水文学センター、イギリス）、アニバル・ポーチャード教授（コンセプション大学林学部および生態学・生物多様性研究所、チリ）、ピーター・ストゥート教授（オンタリオ工科大学、カナダ）の 3 人の共同議長を中心に、世界全地域の 49 カ国から集まった 86 名の第一線の国際的専門家によって評価内容をまとめたものです。科学論文、政府報告書、先住民および地域住民の知識など、侵略的外来種に関する多様な知識を含んだ 13,000 以上の文献を引用しています。

8 月 28 日～9 月 2 日に開催される IPBES 第 10 回総会には、生物多様性と生態系サービスに関する科学と政策の接点の強化を目指す、140 カ国の政府の代表者が参加します。この報告書は、その総会で審議され、承認される予定です。

承認後の 9 月 4 日（月）、ドイツのボンにある IPBES 本部で、キーメッセージや新たな発見などをまとめた本報告書の「政策決定者向け要約（SPM）」がメディア向けに発表される予定です。発表会は日本時間 21:00（中央ヨーロッパ夏時間 14:00）から対面とオンラインのハイブリッドで開催されます。

開催時間についての詳細：<https://bit.ly/3LMACM9>

視聴はこちらから：www.ipbes.net

発表会の参加には事前の登録が必要です。まだ IPBES のメディアリストに登録していない報道関係者の方はこちらのリンクからご登録ください。後日、発表会の案内が送付されます。

<http://eepurl.com/hxkQgn>

侵略的外来種評価について

2019 年、[IPBES 地球規模評価報告書](#)は、侵略的外来種が生物多様性損失の 5 大直接要因のひとつであることを明らかにしました。これらの知見に基づき、「侵略的外来種評価」では以下の評価・分析を行っています。

- 生物多様性と生態系サービスに影響を与える侵略的外来種を評価する。
- このような種が、農業生物多様性や食料、人間の健康、生活の安全保障への影響を含め、生物多様性と生態系サービスの様々なカテゴリーに与える脅威の程度を分析する。
- そのような種が拡散する主な経路と要因を特定する。
- 様々な知識や価値体系を考慮し、地域や小地域ごとの侵略的外来種の影響や関連する管理についての世界的な状況や傾向を浮き彫りにする。
- 侵略的外来種を予防、根絶、制御するために採用できる、現在の国際的、国家的、地方的な管理手段の有効性と関連する政策オプションを、対応オプションに重点を置いて評価する。

【侵略的外来種評価報告書の構成】

侵略的外来種評価報告書は6章からなり、報告書の主要なメッセージの科学的根拠を提供しています。

1. 生物学的侵入とIPBES評価の紹介：概念、用語、リスク
2. 過去と将来の動向、および外来種と侵略的外来種の状況の統合
3. 生物多様性の変化の直接的・間接的な要因：侵略的外来種の移動、導入、定着、拡散
4. 生物学的侵入による自然、自然がもたらすもの、そして良質な生活への影響
5. 生物学的侵入の管理：アプローチ、効果、制約
6. 生物学的侵入の防止と制御のための将来の選択肢：ガバナンスと政策手段

【期待する影響】

IPBES侵略的外来種評価報告書によって、以下のような影響がもたらされることが期待されます。

- 政策立案者や多様な利害関係者を含む意思決定者に、侵略的外来種とその管理に関する入手可能な最良の証拠、分析、選択肢を提供する。
- パリ協定、昆明・モントリオール生物多様性枠組における生物多様性の世界目標、持続可能な開発目標（SDGs）、その他の主要な国際目標の達成に対する生物学的侵入の影響についての理解を深める。
- 侵略的外来種の影響を防止・緩和する上で、様々な主体が果たす役割と、その管理のための取り組みを主体間で一致させる重要性を認識し、強調する。

【レビューと対象読者】

IPBES 侵略的外来種評価報告書は、可能な限り高いレベルの正確性、信頼性、政策的妥当性を確保するため、科学者、意思決定者（政府を含む）、実務者、そして先住民および地域住民の知識保持者から、オープンで透明性の高いプロセスを経て、何千もの外部レビューコメントを通して広範囲にレビューされています。侵略的外来種評価報告書は、政府や企業のリーダー、市民社会グループ、先住民および地域社会を含む幅広い意思決定者のために作成されました。

	4 年間のスケジュール
2018年 3月	IPBES加盟国の代表で構成されるIPBES総会は、評価のロードマップを確立する「 スコーピング報告書 」を承認した。
2020年8月～10月	外部専門家が各章の第一稿をレビューし、IPBES専門家がその後の稿でレビューコメントに対応した。
2021年12月～2022年2月	各国政府と専門家は、各章の第二稿と政策決定者向け要約の第一稿をレビューした。これらのコメントは、IPBESの専門家によって最終稿に反映された。
2023 年 8 月	ドイツのボンで開催される#IPBES10 総会で、政策決定者向け要約の最終稿が加盟国により検討され、その後、2023年9月4日にメディア発表が予定されている。

報道関係者以外の方がニュース速報、最新発表、専門家募集などの情報を受け取るには、以下のリンクより IPBES ステークホルダーとしてご登録ください。

www.ipbes.net/stakeholders

IPBES について

生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム (IPBES) は、約 140 カ国の政府が加盟し、意思決定者からの要請に応じて、生物多様性と自然がもたらすものの状態を評価し、さまざまな社会経済的選択に基づく将来の選択肢を概説する世界的な機関です。しばしば「生物多様性のための IPCC」と形容されます。IPBES の使命は、生物多様性の保全と持続可能な利用、長期的な人類の幸福と持続可能な開発のために、科学を通じて政策と決定を強化することです。IPBES 事務局はドイツ政府がホストし、ボンの国連キャンパス内に置かれています。IPBES の活動には、世界中の数千人の科学者がボランティアとして貢献しており、各国政府や組織から推薦され、IPBES 学際専門家パネルによって選出されます。

【過去の評価報告書について】

「IPBES 花粉媒介者、花粉媒介及び食料生産に関する評価報告書」（2016 年）

80 カ国以上、1,300 以上のメディアに 18 カ国語で取り上げられました。

ニュースリリース：<http://bit.ly/2sq6gbQ>

「IPBES 地域評価報告書」および「土地劣化と再生」に関するテーマ別評価報告書（2017 年）

124 カ国以上、2,500 以上のメディアに 37 カ国語で取り上げられました。

ニュースリリース：<http://bit.ly/2C0tnNu> <http://bit.ly/2ylipyo>

「IPBES 地球規模評価報告書」（2019 年）

170 カ国以上、10,500 以上のメディアに 50 カ国語で取り上げられました。

ニュースリリース：<http://bit.ly/GlobalAssessment>

「IPBES 野生生物種の持続可能な利用」および「IPBES 価値評価報告書」（2022 年）

100 カ国以上、1,800 以上のメディアに 36 カ国語で取り上げられました。

ニュースリリース：https://bit.ly/IPBES_SUA https://bit.ly/IPBES_VA

IPBES のソーシャルメディアアカウント：

Twitter.com/@IPBES facebook.com/IPBES

youtube.com/ipbeschannel

linkedin.com/company/ipbes

instagram.com/ipbes_

お問い合わせ（英語）：media@ipbes.net